

キャリアアップに資する教育訓練（説明用シート）

派遣業務内容	繊維検査業務
派遣業務の具体的な内容	繊維品種の評価・検査作業

	入職時～1年目		2年目		3年目		4年目以降	
(1)必要とされる共通のキャリアパス（求める人材要件）	職場ルール、作業標準書に従って正確に作業ができる。		作業の基本を理解し、後輩に教えることができる。		職場の課題を発見し、改善提案を行うことができる。		職場の責任者として部下をマネジメントし、業務を円滑に進めることができる。	
(2)(1)に必要なスキル、資質等	パソコン基礎スキル		検査作業能力、コミュニケーション力		専門知識向上、改善策立案		異常時対応、リーダーシップ	
(3)教育訓練内容（上段：様式3号－2具体的な教育訓練、中段：上段の内容のわかる事項、下段：訓練計画時間）	①	入職時訓練	②	専門知識教育	②	専門知識教育	②	専門知識教育
	ビジネスマナー、基礎的事項の教育		特品製品知識取り扱いの作業標準書等で教育		お客様用途、異常発生時対応の教育		製品知識、取り扱い全般について改善、効率化の教育	
	5時間		3時間		1時間		1時間	
	②	専門知識教育	③	検査技術訓練	③	品証ソフトウェア教育	③	検査技術訓練
	製品基礎知識、取り扱いについて作業標準書等で教育		検査応用作業の教育		品質保証東レグループでの過去の事例教育と処置対応		検査作業異常発生時対応関係部署との連携、報告の教育	
	1時間		1時間		2時間		1時間	
	③	検査技術訓練	④	品証ソフトウェア教育	④	コミュニケーション、リーダー教育	④	品証ソフトウェア教育
	検査基本作業について作業標準書等で教育		品質保証東レグループでの過去の事例教育		ロールプレイ、ケーススタディグループワーク		品質保証過去の事例からの対策、改善の教育	
	1時間		1時間		3時間		1時間	
	④	品証ソフトウェア教育	⑥	コミュニケーション、リーダー教育	⑥	原価教育	⑤	原価教育
品質保証基本遵守事項について教育		ロールプレイ、ケーススタディ		原価基礎知識教育		原価構成、改善について原価表事例を用いて教育		
1時間		3時間		2時間		2時間		
				⑤		⑥	マネジメント教育	
							組織運営、業務管理について教育	
							3時間	
(4)期待される教育訓練の効果／到達すべき知識／技量レベル／キャリアアップにつながる理由	入職教育をすることで、基礎的内容を理解することができる。専門知識教育や検査技術訓練し習得することで正確な作業ができるようになる。品証ソフトウェア教育でこれまでの事例等を知ることで品質に対する意識が向上する。		専門知識教育、検査技術訓練をすることで作業への理解を深め後輩への教育ができるようになる。品証ソフトウェア教育でこれまでの事例等を知ることで品質に対する意識が向上する。		専門知識教育、検査技術訓練をすることで作業への理解を深めることができ、課題抽出や業務改善に向けた取り組みができるようになる。品証ソフトウェア教育を継続的に実施することで正しい事を正しく実施する強い意識付けができる。コミュニケーション、リーダー教育を通じて必要な知識を身につけることができる。原価基礎知識を理解することで改善に向けた取り組みができるようになる		専門知識教育、検査技術訓練をすることで作業への理解を深めることができ、スムーズに異常時の対応かつ的確な対応等職場のリーダーとして部下と円滑に進めることができるようになる。品証ソフトウェア教育を継続的に実施することで部下と共に品証ソフトウェアに向けた正しい取り組みができる。原価構成や改善事例を学ぶことで業務改善、効率化に向けた取り組みをリーダーとして主体的にできるようになる。	